



2026
ガイダンス
セミナー

製図試験.COM

製図試験comとは

2000年（H12）から始めた1本のメルマガからスタート

これまで3000名以上の一級建築士を輩出

通信添削からオンライン・通学塾を行っている。

昨年から関戸講師も加わり、第3期の展開を迎えつつある。

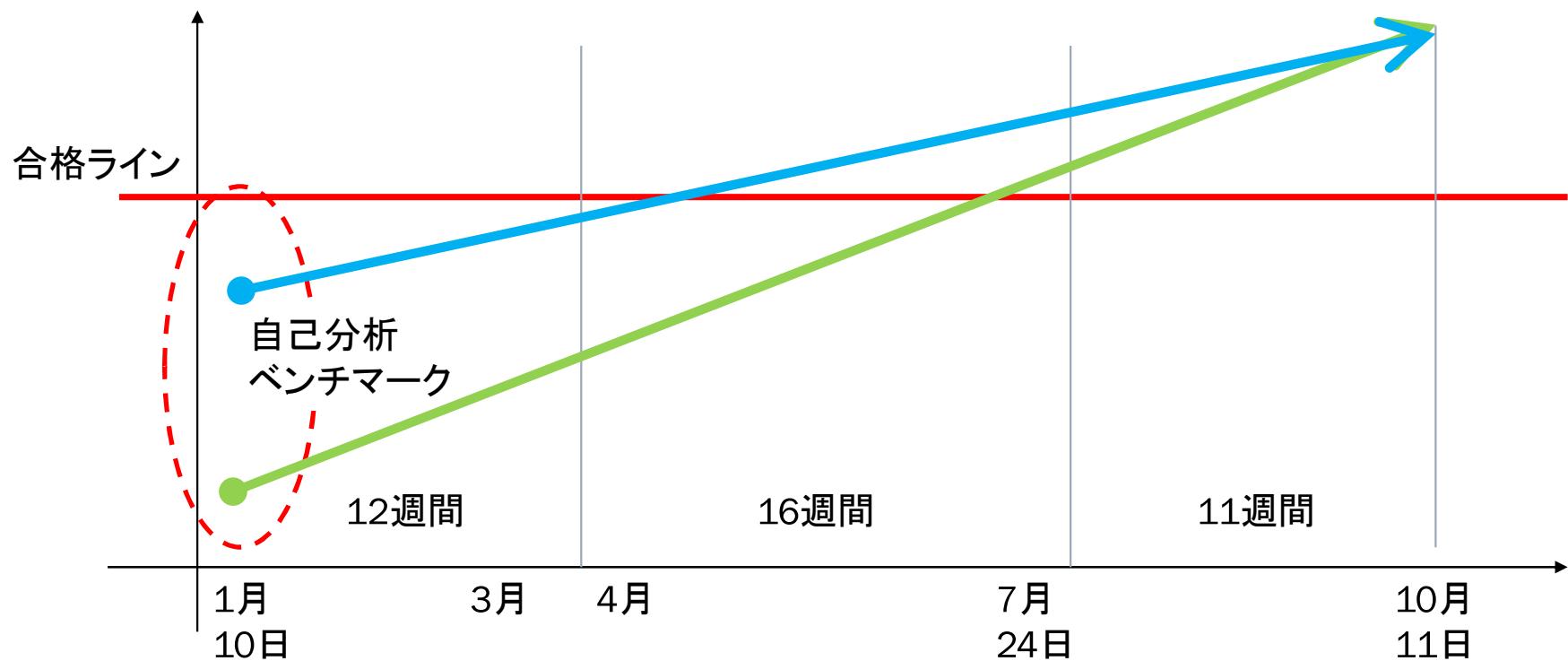
ガイダンスセミナーの目的

合格するためには、本試験当日10月11日からの逆算が不可欠。

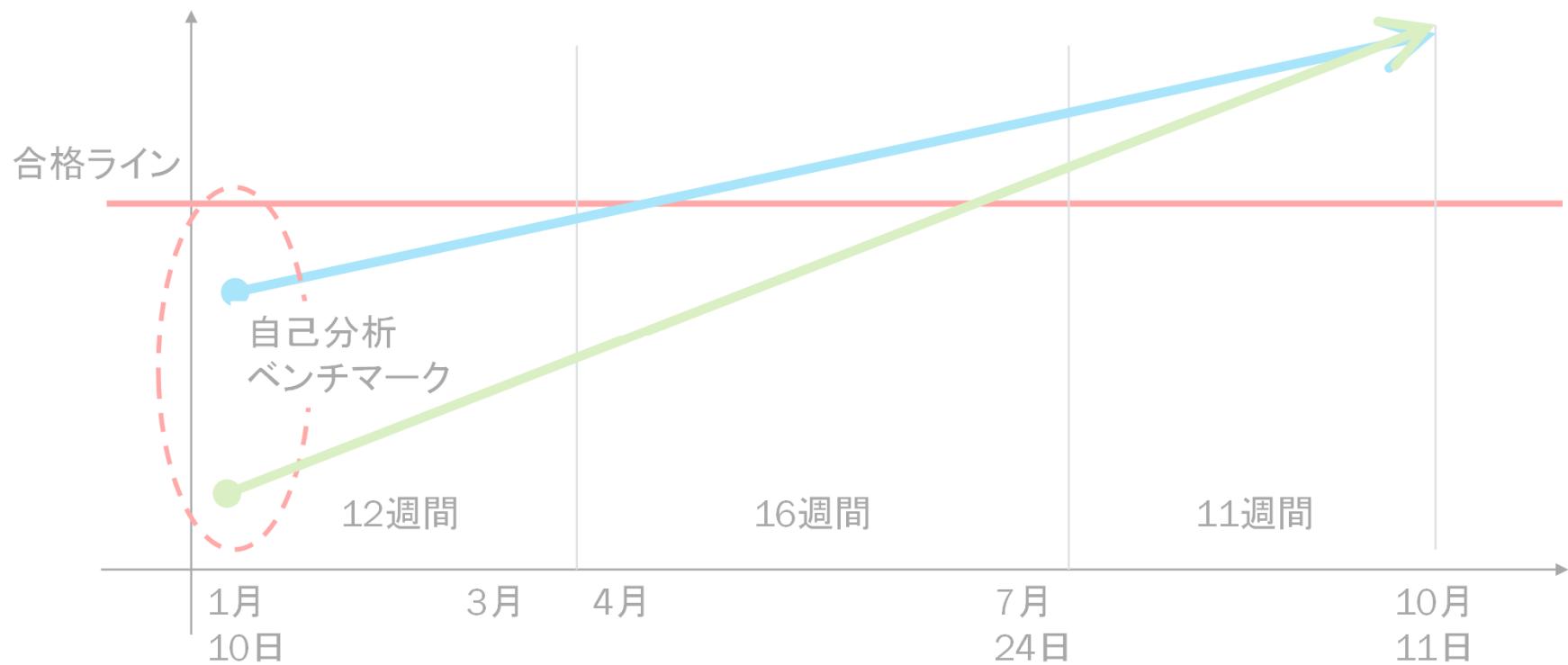
ではその合格からの逆算をどうすべきなのか。

そのための方法とスケジュールについて解説します。

目標の共有から



終点・始点・勾配が見えている？



目標は「一級建築士たり得る」知識と技能

採点のポイントに明記

1) 空間構成

2) 建築計画

3) 構造計画

4) 設備計画

※①未完 ②不一致

③アルナシ ④法規他

採点の ポイント	<p>(1) 空間構成 ①建築物の配置・外構計画、②ゾーニング・動線計画、 ③要求室等の計画、④建築物の立体構成等</p> <p>(2) 建築計画（環境・意匠） ①周辺環境への配慮及び来庁者への配慮 ②来庁者と職員・議員等とのセキュリティを踏まえた動線計画 ③庁舎に必要な室（議場、町長室・副町長室等）の配置と諸室との関係性</p> <p>(3) 構造計画 ①採用した構造（耐震構造・免震構造・制振構造等）の特性を踏まえた計画 ②議場の構造計画</p> <p>(4) 設備計画 ①省エネルギー及び二酸化炭素排出量削減への配慮 ②庁舎の機能維持のために発電機の給電対象とした設備とその配慮</p> <p>※ 設計条件・要求図面等に対する重大な不適合 ①「要求図面のうち1面以上欠けるもの」、「面積表が完成されていないもの」又は 「計画の要点等が完成されていないもの」 ②図面相互の重大な不整合（上下階の不整合、階段の欠落等） ③次の要求室・施設等のいずれかが計画されていないもの 議場、町長室、副町長室、事務室、書庫、大会議室、会議室A、会議室B、サーバー室、 休憩室、更衣室、防災備蓄倉庫、住民交流スペース、カフェ、守衛室、受水槽室、 消火ポンプ室、エレベーター、P S・E P S、車椅子使用者用駐車場、サービス用駐車場 ④法令の重大な不適合等、その他設計条件を著しく逸脱しているもの</p>
-------------	---

判断条件と成立条件に整理

判断条件 (judgement=jud)

- 1) 空間構成 2) 建築計画 3) 構造計画 4) 設備計画

成立条件 (determinant=det)

- ※①未完 ②不一致 ③アルナシ ④法規他

本来は判断条件で問われるべき製図試験

成立条件 (determinat = det)

※①未完 ②不一致 ③アルナシ ④法規他

実際は判断条件に至る前に
合否が決定している現状

判断条件 (judgement = jud)

1) 空間構成 2) 建築計画 3) 構造計画 4) 設備計画

JAEICはそれを良しとしているのか否か。

成立条件 (determinat = det) = **客観的に誰でも判定できる条件**

※①未完 ②不一致 ③アルナシ ④法規他

新たな成立条件化している可能性

図面判読性 要点の決定的ミス（判断ミス）

判断条件 (judgement = jud)

1) 空間構成 2) 建築計画 3) 構造計画 4) 設備計画

ガチャ感満載の製図試験の闇の部分

R04：事務所ビル

- 標準的

R05：図書館

- 北斜

R06：大学

- 階数無指定

R07：庁舎

- 平易・配点変更か

	R04	R05	R06	R07
ランク1	33.0%	33.2%	26.6%	35.0%
ランク2	6.1%	2.1%	1.5%	1.6%
ランク3	32.4%	22.1%	23.6%	53.7%
ランク4	28.5%	42.6%	48.0%	9.7%
学科合格率	21.0%	16.2%	23.3%	16.5%
総合合格率	9.9%	9.9%	8.8%	11.4%

では判断条件は無視してよいのか

成立条件 (det) ※①未完 ②不一致 ③アルナシ ④法規他
だけでは、パーツは揃っていても、建築物として成立しない。

成立条件は絶対的だが

判断条件 (jud)の把握 = 扱い方・判断の仕方は常に問われている

- 1) 空間構成 2) 建築計画 3) 構造計画 4) 設備計画

= ここがブレていないことが重要かつ大前提

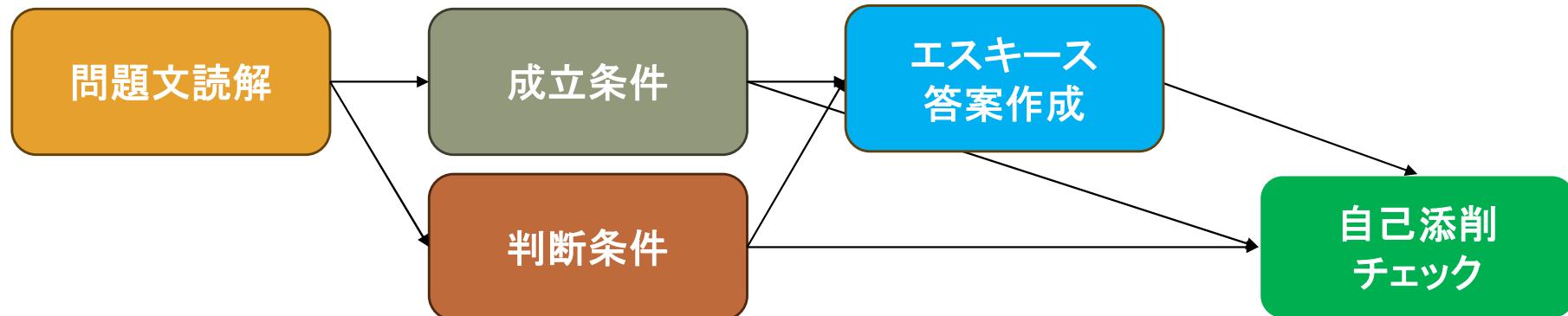
2026年製図試験comの逆算方針

以上の分析から合格から逆算することを考える。

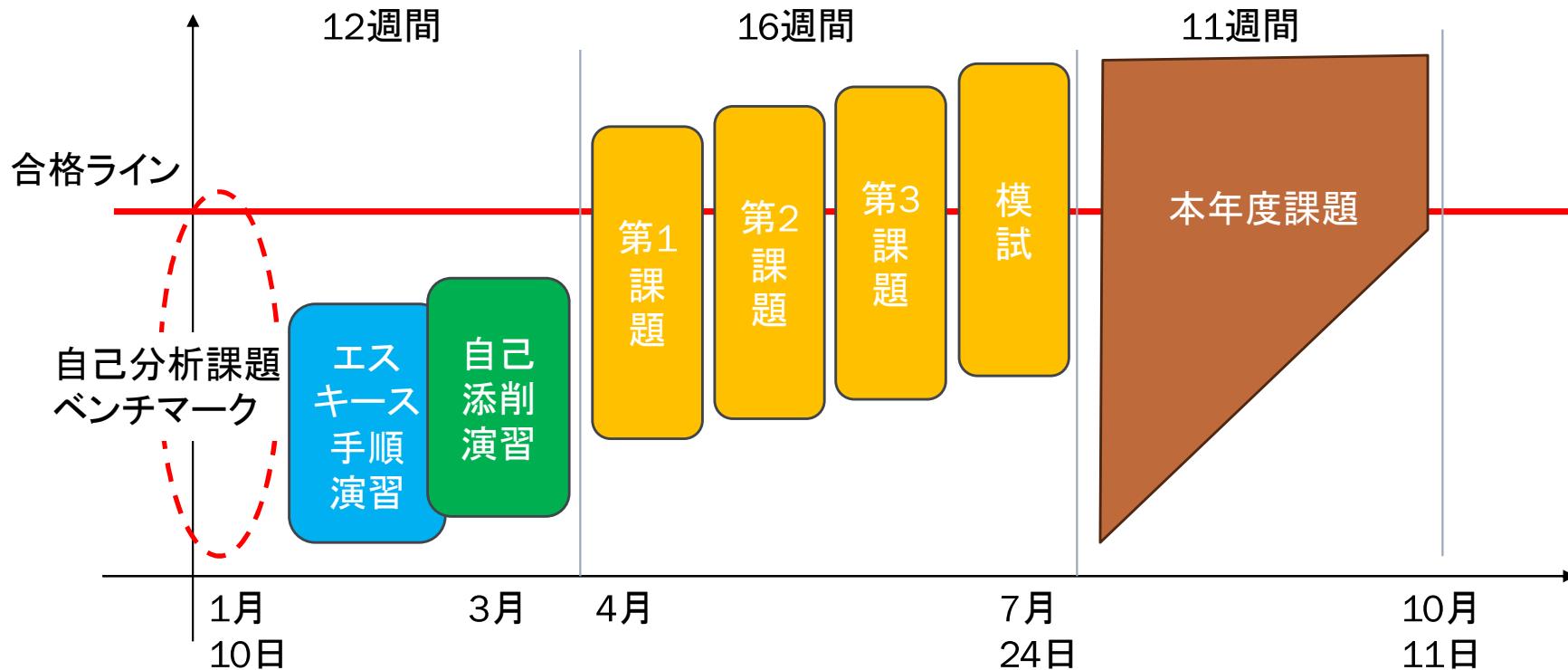
- 1) これまでのアルナシ・法規・数字という成立条件(det)の厳守
- 2) 成立条件 = 客観的判断可能な範囲の見直し
→具体的には、明らかな判断ミス、図面判読性
- 3) フリーでもブレない判断条件の整理
- 4) R07傾向対策（平易でフリーな問題でブレないこと）

製図試験comの本年度学習コンセプト

- 成立条件と判断条件を分けて考えること
- 分けたうえでエスキース・作図手順を固め、時短すること
- 自己添削チェックができること



スケジュールイメージ



自己分析課題の使い方

自己分析を行うために解きます。

- ・資料は何を觀てもOK（まだ覚えていないから）
- ・時間は無制限であなたの最大出力を出してください。
- ・一通りできる方は時間にもこだわってください。
- ・終わったら、添削シートでdet、judのチェックをしてください。
- ・その上で、プロセスシートも記入してください。

自己分析課題の解説は1月18日以降で。

1月18日東京ガイダンスセミナーで解説します。

オンライン設備がないため、

一般には後日オンラインで解説します。

なお、この課題の深堀りは2月・3月の合格基礎講座で行います。

製図試験com参加の仕方

これがガイダンスセミナー

→必要なら無料面談

→1月：自己分析課題トライ・送付

→2月：合格基礎講座

→4月：第1課題～

→7月：本年度課題～

無料メルマガ登録 → (NO) → 解除

↓ <YES>

受講ガイドダウンロード

「ステップで攻略するエスキース」購入

↓ <YES>

ガイダンスセミナー

無料面談

↓ <YES>

自己分析課題トライ・送付

↓ <YES>

合格基礎講座申込み

↓ <YES>

銀行・ゆうちょ振込

↓ <YES>

合格基礎講座スタート

↓ <YES>

通期コース申込み（※1 教材・2 通信・3 通学）

↓ <YES>

銀行・ゆうちょ振込

↓ <YES>

コーススタート 2月・4月・7月 ⇄ コース変更も相談の上可能

全て出来高差額先払い制

→ (NO) → 他校・独学

質疑応答

なければこれで終わります。

自己分析課題 + 添削シート + プロセスシート
に挑戦してみてください。



2026
ガイダンス
セミナー

製図試験.COM